



産・学・官で行われている、山林傾斜部の深さ毎の水分調査・データ送信機器

策を検討したい。

◆消防団員の確保について
消防団活動に対する市長の考えは。(宮田)

答 強制力はなく、究極のボランティア活動である。団員が認められる受益を検討する。

高齢者もいきいき暮らせるまち

◆高齢者に優しいまちづくり

問 高齢化率・人口構成を鑑みて、大胆な発想で高齢者に優しいまちづくりは。(西條)

答 高齢者と子どもに優しいまちづくりを研究していく。

◆生活保護行政について

問 法律が改定されると申請書と書類の添付が必要になる。国は法律が変わっても運用方

法はこれまでと変わらないといっているが、実際にそのようなことは可能か。(柴田)

答 本人の意志の確認のために申請書は書いていただく。また、すみやかな保護の決定のために早期に必要な書類を提出してもらうことについては、今までと同様である。

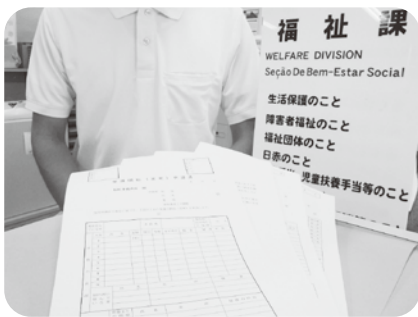
◆(仮称)ふれあいセンター
広丘について

問 「ふれあいセンター」として北部、西部、東部の3圏域ごとの整備方針は。(牧野)

答 いずれの施設も、日常生活圏域ごとに地域福祉を推進していく上で必要な施設として考えており、多くの地域住民の方に利用される施設となるよう検討している。

問 北部圏域の区長さん方の意見総意について。(牧野)

答 5月に開催された意見交換会では、北部圏域の区長さん方の意見の総意としては、「要望書に沿った基本計画の策定を進めてほしい」という意見が総括かと思う。



生活保護申請窓口



(仮称)ふれあいセンター広丘建設予定地

問 3つの圏域における施設建設の公平性、平等性の上からも入浴施設は必要だと思いがいかがか。(牧野)

答 市民や地域組織が主体となって自ら事業を考え、その目的に沿い、運営に参画していくことが必要と考えるが、北部圏域の区長さん方の意見をお聞きする中で、要望書に沿って市と連携して施設建設や、事業の企画、運営に取り組んでいくという参画の意志と協働の姿が見え、施設に寄せる熱意も伝わったので、よりよい方向で合意できるよう進めていく。

◆住宅改修費負担の軽減を

問 介護保険に改修費の9割分を給付するサービスがある。一旦は全額(上限20万円)が必要、手続きを変更し受領委任払いと償還払いとの選択制にする考えは。(山口)

答 今後は利用者の増加が見込まれるが、業者の協力が必要であり検討していく。

子ども・子育て支援を

◆子育て支援について

問 学校給食は教育の一環である。教育条件整備、子育て世代支援として給食費補助の検討、実施を。(鈴木)

答 公会計化の実施、児童手当からの天引きで納付、徴収



自校給食で豊かな食育